

## コード進行と基礎理論、理論からの曲作り

## 1. 音程…基準とする音とある音との間隔

## 1)音階

「ド(全音)→レ(全音)→ミ(半音)→ファ(全音)→ソ(全音)→ラ(全音)→シ(半音)→ド」などの音の並びのこと

## 2)全音・半音

半音階「ド→ド#→レ→レ#→ミ→ファ→ファ#→ソ→ソ#→ラ→ラ#→シ→ド」の中で  
ド→レ(全音) ド→ド#(半音)

## 3)オクターブ

1 オクターブとは「ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ、ド」の7つの音が含まれる音階の事。

1 オクターブは「ド、ド#、レ、レ#、ミ、ファ、ファ#、ソ、ソ#、ラ、ラ#、シ、ド」の12音に分割されている。

## 4)キー(調)

音階は全部で12個(ド、ド#、レ、レ#…シ)あるが、基準音と調性がとれる音は7音。

その7音の組み合わせが調(キー)。

- ・長調(メジャーキー):明るい曲調になる調(キー) (ハ長調 基準音 C)
- ・短調(マイナーキー):暗い曲調になる調(キー) (イ短調 基準音 A)

## 5)度

音程の単位。例えば「ド」を基準とすれば2度の音程は「レ」、3度の音程は「ミ」

「レ」を基準とすれば2度の音程は「ミ」、3度の音程は「ファ」となる。

## ・度の種類

- [ 長〇度 ] 普通の音程。(正確に言うと長音階での音程)
- [ 短〇度 ] 長〇度より半音低い音階
- [ 完全〇度 ] 長1度、長4度、長5度、長8度のこと。
- [ 増〇度 ] 完全〇度より半音高い音階
- [ 減〇度 ] 完全〇度より半音低い音階

## 2. コード(和音)

## 1)コードとは

コードとは曲の伴奏を記号で表したもので、音程の異なる複数の音が同時に鳴った音のこと(=和音)。

一般的に使われるコードは互いに調和する2音~4音くらいで成り立ったもの。

## 2)コードの表記のしくみ

基準音(根音,ルート音)を大文字アルファベット1文字で表しただけのものはメジャーコード(1度+長3度+5度で構成されるコード)と呼ばれる。

例:C(ド・ミ・ソ)、A(ラ・ド#・ミ)、E<sup>b</sup>(ミ<sup>b</sup>・ソ・シ<sup>b</sup>)など

これを基本に、アルファベットの右に「m」や「7」とかの記号がつくと構成音に変化する。

例:Om→構成する音を「1度+長3度+5度」から「1度+短3度+5度」に変形。

(Cはド・ミ・ソ、Cmはド・ミ<sup>b</sup>・ソ)

O7→構成する音に短7度を加え「1度+長3度(短3度)+5度+短7度」に変形。

(Cはド・ミ・ソ、C7はド・ミ・ソ・シ<sup>b</sup>)

O<sup>sus</sup>4→構成する音を「1度+長3度+5度」から「1度+4度+5度」に変形

(Cはド・ミ・ソ、C<sup>sus</sup>4はド・ファ・ソ)

## 3)コード進行

コードというのは曲の伴奏を記号で表わしたものだ。その並びかたをコード進行という。

この並び方次第で楽しげに聞こえたり、怖い曲に聞こえたりする。適当に並べればいいわけではなく、ある程度法則があり、法則からあまりに外れると気持ち悪く聞こえる。

(※参考 調と使うコードの一覧)

調(=key) / コード	長調1度 (トニック)	長調4度 (サブドミナント)	長調5度 (ドミナント)	短調1度 (トニック)	短調4度 (サブドミナント)	短調5度 (ドミナント)	長調3度
B/G#m	B	E	F#m	G#m	C#m	D#m	D#
E/C#m	E	A	B	C#m	F#m	G#m	G#
A/F#m	A	D	E	F#m	Bm	C#m	C#
D/Bm	D	G	A	Bm	Em	F#m	F#
G/Em	G	C	D	Em	Am	Bm	B
<b>C/Am</b>	<b>C</b>	<b>F</b>	<b>G</b>	<b>Am</b>	<b>Dm</b>	<b>Em</b>	<b>E</b>
F/Dm	F	B <sup>b</sup>	C	Dm	Gm	Am	A
B <sup>b</sup> /Gm	B <sup>b</sup>	E <sup>b</sup>	F	Gm	Cm	Dm	D
E <sup>b</sup> /Cm	E <sup>b</sup>	A <sup>b</sup>	B <sup>b</sup>	Cm	Fm	Gm	G
A <sup>b</sup> /Fm	A <sup>b</sup>	D <sup>b</sup>	E <sup>b</sup>	Fm	B <sup>b</sup> m	Cm	C
D <sup>b</sup> /B <sup>b</sup> m	D <sup>b</sup>	G <sup>b</sup>	A <sup>b</sup>	B <sup>b</sup> m	E <sup>b</sup> m	Fm	F
G <sup>b</sup> (F#)/E <sup>b</sup> m(D#m)	G <sup>b</sup> (F#)	C <sup>b</sup> (B)	D <sup>b</sup> (C#m)	E <sup>b</sup> m(D#m)	A <sup>b</sup> m(G#m)	B <sup>b</sup> m(A#m)	B <sup>b</sup> (A#)
バリエーション	M7 sus4 add9	M7 add9	7 sus4	m7 m7add9	m7 m7add9th	m7	7

## 3. 作曲してみよう

C調で簡単な曲を作ってみる

コード進行→ドラム・ベース音→メロディ

とりあえず使うコードは C F G Am Dm Em (E)

それぞれのテクニックに関しては時間があれば適宜説明する感じで。